

課目名	2026年度 関係法規・制度		必修/選択	必修
履修時間	30時間	1年次10時間 2年次20時間	授業方法	講義
実施方針	理容師・美容師の業務に係る衛生法規・制度及び消費者保護法規・制度について、正しい知識を習得しておかなければならない必要性を理解させ、あわせて、公衆衛生を担う理容師・美容師の社会的責務、職業倫理について、自覚を促すこと。理容・美容の業務に関する規定内容を正確に理解させるとともに、衛生法規が、理容業・美容業を行う場合の指針として有する意義を把握させること。			
授業内容と計画		時間	内容	
		1	社会生活における法の役割	
		1	人と社会生活・法とは何か	
		1	法の形式・憲法・条約・法律	
		1	命令・自治法規	
		1	衛生法規の概要(小テスト)	
		1	附属法令	
		1	衛生行政の意義と歴史	
		1	生活衛生行政	
		1	行政機関・しくみ	
		1	厚生・労働省・役割(小テスト)	
		1	保健所の役割、都道府県	
		1	まとめ(概要)	
		1	理容師法・美容師法の目的	
		1	施行令・施行細則	
		1	用語の定義(小テスト)	
		1	養成施設	
		1	試験	
		1	免許登録	
		1	義務	
		1	業務停止(小テスト)	
		1	免許取消・再免許	
		1	管理理容師・管理美容師	
		1	理容所・美容所	
		1	開設	
		1	衛生措置(小テスト)	
		1	立入検査・環境衛生監視員	
		1	違反者等に対する行政処分	
		1	審査請求	
		1	罰則	
		1	関連法規(運営・衛生・顧客)	
評価方法と基準	出席率85%以上 授業への取り組み評価 試験で60点以上 60点未満の場合 再試験			

課目名	2026年度 衛生管理		必修/選択	必修	
履修時間	90時間	1年次60時間 2年次30時間	授業方法	講義	
実施方針	公衆衛生の意義と本質とを明らかにすることによって、理容師・美容師が公衆衛生の維持と増進とについて重大な責務を担わなければならない理由は何かを十分に理解させることが必要であること。特に、生活衛生の意義と目的について、理容師・美容師の業務と関連付けながら具体的に理解させること。理容師・美容師の業務内容と感染症予防、環境衛生の保持との具体的な関連付けを重視して、理容・美容における衛生措置の重要性について理解させること。特に、理容・美容器具などの消毒法は、理容・美容業務の衛生性を担保する上で最も重要な技術であるので、その意義と原理について十分に理解させるとともに、その適正な実施方法を身に付けさせることが肝要であること。				
授業内容と計画	衛生管理技術	内容			
		1	衛生管理技術を学ぶ目的、病原微生物の種類と構造		
		1	消毒の原理、消毒の意義		
		1	理容・美容の業務と消毒との関係		
		1	消毒法と適用上の注意、消毒法の種類、必要な条件		
		1	病原微生物の抵抗力、消毒薬使用液の保存上の注意		
		1	消毒法各論 紫外線消毒、煮沸消毒		
		1	蒸気消毒、その他の理学的消毒法		
		1	エタノール消毒、次亜塩素酸ナトリウム消毒		
		1	逆性石けん、両性界面活性剤消毒		
		1	グルコン酸クロロヘキシジン消毒、その他の消毒薬		
		1	まとめ、ノート提出		
		1	中間試験		
		1	すぐれた消毒法とその実施上の注意		
		1	消毒を行う際の注意事項		
		1	消毒法実習 消毒薬の概要		
		1	器具の使い方、常備しておくとい消毒薬と希釈液の濃度		
		1	消毒薬希釈法 まとめ		
		1	練習問題		
		1	理容所・美容所の消毒の実際 消毒設備		
		1	理容・美容器具類の消毒法、手指消毒		
		1	その他のものの消毒、理容所・美容所の消毒の実際		
		1	中間試験		
		3	理容所・美容所の清潔法の実際		
		1	まとめのプリント		
		4	総合学習 模擬テスト		
	感染症	4	人と感染症		
		4	病原微生物		
		9	感染症の予防		
		1	理容・美容と感染症		
		10	主な感染症		
		2	具体的対策の例		
	公衆衛生学・環境衛生	1	公衆衛生の意義と課題		
		1	公衆衛生発展の歴史 欧米の公衆衛生の歩み		
		1	公衆衛生発展の歴史 我が国の公衆衛生の歩み		
		1	公衆衛生発展の歴史 消毒法の歴史		
		1	理容師美容師と公衆衛生 歴史の中の理容師美容師と公衆衛生		
		1	理容師美容師と公衆衛生 公衆衛生と理容師美容師		
		1	保健所と理容業・美容業		
		1	母子保健 母子保健と統計		
		1	母子保健 母子保健の意義 母子の健康管理		
		1	成人・高齢者保健 我が国における死亡率の低下 平均寿命の延び		
		1	成人・高齢者保健 生活習慣病とその対策 健康増進対策		
		1	成人・高齢者保健 がん 心臓病		
		1	成人・高齢者保健 脳卒中 糖尿病		
		1	成人・高齢者保健 喫煙 アルコール		
		1	成人・高齢者保健 身体活動運動 高齢者の保健と福祉		
		1	精神保健		
		1	環境衛生の内容		
		1	環境衛生の目的と意義		
		1	環境衛生活動		
		1	空気環境 空気と健康		
		1	空気環境 温度湿度気流と健康		
		1	衣服の衛生		
		1	住居の衛生 採光と照明		
		1	住居の衛生 換気 冷暖房		
1		上水道			
1		下水道			
1		廃棄物			
1		衛生害虫			
1		ネズミ			
1		環境保全			
評価方法と基準		出席率85%以上、授業への取り組み評価 試験で80点以上、60点未満の場合再試験			

課目名	2028年度 保健		必修/選択	必修
履修時間	90時間	1年次60時間 2年次30時間	授業方法	講義
実施方針	理容・美容技術の基礎となる人体組織、特に皮膚及び毛髪などの皮膚付属器官の構造と機能に関する科学的、系統的な知識の習得を目的とすること。理容・美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、皮膚、毛髪などに関する正確な科学的知識が不可欠であることを理解させること。			
授業内容と計画	人体の構造および機能	時間	内容	
		3	第1章頭部、顔部、頸部の体表解剖学(各回確認テスト)	
		4	第2章骨格器系(5、6、7回目確認テスト)、1章テスト(4回目)	
		3	第3章筋系(8,9回目確認テスト)、2章、3章テスト(10回目)	
		5	第4章神経系、夏休み明けテスト(11回目)	
		6	第5章感覚器系、4章テスト(16回目)5章テスト(20回目)	
		5	第6章血液・循環器系、冬休み明けテスト(21回目)8章テスト	
		6	第7章呼吸器系、春休み明けテスト(28回目)	
		6	第8章消化器系、7章テスト(31回目)8章テスト(35回目)	
		6	人体の構造及び機能の総復習(まとめテスト5回)	
	皮膚科学	1	皮膚の表面	
		1	皮膚の断面	
		2	表皮(1)角化細胞	
		1	色素細胞	
		1	ランゲルハンス細胞、真皮、小テスト	
		2	真皮、小テスト	
		1	皮下組織、皮膚の部位差、小テスト	
		1	第1章 まとめ(まとめプリント)	
		3	毛〈1〉毛の構造、夏休み明けテスト	
		1	〈2〉毛の型と毛の成長周期、〈3〉毛の型の変化	
		2	〈4〉毛の成長、小テスト	
		1	〈5〉毛の性状、〈6〉立毛筋	
		1	脂腺(皮脂腺)	
		1	汗腺、小テスト	
		1	爪、第3章 皮膚の循環器系と神経系、2学期のまとめ(まとめのプリント)	
		2	対外保護作用、冬休み明けテスト	
		1	体温調節作用～呼吸作用	
		1	吸収作用～再生作用	
		1	毛のはたらき、爪のはたらき、小テスト、3学期のまとめ(まとめのプリント)	
		1	皮膚と全身状態～5項 皮膚と体内病変、春休み明けテスト	
		1	皮膚の水分と脂の状態	
		2	皮膚・付属器官とホルモン 小テスト	
		3	皮膚の保護と手入れ、小テスト	
		1	毛の保護と手入れ	
		1	爪の保護と手入れ、子供のおしゃれによる皮膚トラブル小テスト	
		1	1学期のまとめ(まとめのプリント)	
		1	皮膚の異常とその種類～皮膚疾患の治療法、夏休み明けテスト	
		1	皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹、口唇の疾患、小テスト	
		1	温感・寒冷による皮膚障害～色素異常による皮膚疾患	
		1	血管腫～分泌異常による皮膚疾患	
		1	化膿菌による皮膚疾患、小テスト	
		2	ウイルスによる皮膚疾患、15項 真菌による皮膚疾患	
		1	衛生害虫による皮膚疾患、17項 感染症の皮膚疾患の予防	
		1	毛と爪の疾患、19項 皮膚の腫瘍	
		1	2学期のまとめ(まとめのプリント)	
		5	プリントを使用し、教科書の総復習する。	
評価方法及び基準		出席率85%以上、授業への取り組み評価 試験で60点以上 60点未満は再追試		

課目名	2026年度 香粧品化学		必修/選択	必修
履修時間	60時間	1年次30時間 2年次30時間	授業方法	講義
実施方針	香粧品は、理容・美容技術を行う上で欠くことのできないものである反面、その使用方法を誤れば重大な健康被害を起こすおそれがあるものであることから、その化学的な性質を理解させるとともに、これを正しく使用するためには正確な知識と適正な技術とを身に付けることが重要であることを認識させること。理容・美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、香粧品の正確な科学的知識と合理的な取扱方法を習熟させ、あわせて、香粧品による危害を防止するための使用上の注意を学ばせること。			
授業内容と計画		時間	内容	
		1	香粧品の社会意義と品質特性	
		1	香粧品の規則	
		1	香粧品の安全性と取り扱い上の注意	
		1	香粧品の安全性 第1章 まとめテスト	
		1	水性原料	
		2	油性原料	
		2	界面活性剤	
		2	高分子化合物	
		2	色材	
		1	香料	
		2	その他の配合成分 第2章 まとめのテスト	
		2	皮膚清浄用香粧品	
		2	化粧水	
		2	クリーム・乳液	
		2	その他の基礎化粧品 第3章まとめテスト	
		2	メイクアップ用香粧品の種類と剤形	
		2	ベースメイクアップ香粧品	
		2	ポイントメイクアップ香粧品 第4章 まとめテスト	
		2	シャンプー剤	
		2	スタイリング剤	
		3	パーマ剤	
		3	ヘアカラー剤	
		2	育毛剤 第5章まとめテスト	
		2	芳香製品	
		2	特殊香粧品 第6章まとめテスト	
		2	第1章の問題演習及び解説	
		2	第2章の問題演習及び解説(1)	
		2	第2章の問題演習及び解説(2)	
		2	第3章の問題演習及び解説	
		2	第5章の問題演習及び解説(1)	
		2	第5章の問題演習及び解説(2)	
		2	第6章の問題演習及び解説	
評価方法と基準	出席率85%以上、授業への取り組み評価 試験で60点以上、60点未満は再追試			

課目名	2026年度 理容技術理論	必修/選択	必修
履修時間	120時間	授業方法	講義
実務経験	実務経験のある教員等による授業科目		
実施方針	理容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせること。理容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせで完成させる技術を習得させること。個々の客の要望に応じた理容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせること。		
授業内容と計画		時間	内容
		4	序章・第1章(理容技術の基礎・技術姿勢)
		8	第2章(理容用具について)
		8	第3章(ヘアデザインについて)
		10	第4章(ヘアカッティングについて)
		11	第5章(ヘアセッティングについて)
		13	第6章(パーマメントセットについて)
		10	第7章(ヘアカラーリングについて)
		12	第8章(シェービングについて)
		10	第9章(理容エステティックについて)
		6	第10章(理容クリニックについて)
		6	第11章(シャンプーイングについて)
		3	第12章(理容マッサージ)
		9	第13章(ヘアトリートメント)第14章(ヘアトリートメント)
		10	各章のまとめ・復習
評価方法と基準	出席率85%以上、授業への取り組み評価試験で60点以上で合格。60点未満は再追試		

科目名	206年度 運営管理		必修/選択	必修
履修時間	30時間	2年次30時間	授業方法	講義
実施方針	経営管理及び労務管理の基本的事項を学習することによって、理容業・美容業における経営管理手法の重要性を認識させ、理容所・美容所の経営に役立たせること。理容業・美容業において、適切な接客態度がいかに重要であることを自覚させるとともに、消費者対応の基本を学ばせ、実践する能力を身に付けさせること。			
授業内容と計画		時間	内容	
		2	経営とは、経営者についての基本的な考え方を学ぶ	
		1	経営とは具体的に何をすることなのか。	
		1	経営に必要な基本的な考え方を学ぶ。	
		1	経営戦略について学ぶ	
		1	顧客に選ばれるよい店とはなにか。ディスカッション形式	
		1	経営者の視点	
		1	よい店とは。ディスカッション形式(振り返りテスト)	
		2	理美容業の業界の現状について学ぶ	
		1	サービスの本質とはなにか。	
		1	顧客の意向や動向に関して状況を把握する。	
		1	経営の中で重要性の高い資金管理について学ぶ。	
		1	経営におけるの収支や損益について学ぶ。	
		1	会計の考え方を通して店でのお金の動きについて考える。	
		1	コスト管理について	
		1	税金について(振り返りテスト)	
		3	人を管理する取り組み「労務管理」の必要性和意義	
		1	給与の労務管理上の役割	
		1	待遇・福利厚生について	
		1	労務管理(労働者の権利について)	
		1	健康管理	
		1	公的年金・医療保険・労働保険・マイナンバー制度等	
		1	顧客が求める価値・顧客満足の実現のためのシステム	
		1	マーケティング(特徴・要点・要因について)	
		1	サービスのシステム化	
		2	接客の実践	
評価方法と基準		出席率85%以上、授業への取り組み評価 試験で60点以上 60点未満は再試験		

課目名	2026年度 理容実習	必修/選択	必修
実務経験	実務経験のある教員等による授業科目		
単位(時間)	690時間	授業方法	実習
実施方針	理容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を得得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせることで完成させる技術を得得させること。理容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせること。個々の客の要望に応じた理容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせること。		
授業内容と計画		時間	内容
	カット	200	シザー持ち方、コームの持ち方、セイムレイヤー、ワンレングス
			ミディアムカット、グラデーションボブ、メンズカット
			実技テスト、国家試験セイムレイヤーカット
	シェービング	90	レザー操作、基本プロセス、シェービング手順、レザーテクニック
			相モデル、眉毛・ヒゲの手入れ
			総合 適切な施術時間 接客対応 仕上がり確認
	フェイシャルトリートメント	20	スチーミング 立ち位置 姿勢 手指の動かし方
			乳液塗布 マッサージ 拭き取り
			実技テスト
	ヘッドマッサージ	20	手順
			技法練習
			手順テスト
			相モデルテスト
	ワンレングス	20	ラップブロー
			テンションブロー
			ラップブロー～テンションブロー
			アイロン操作
	ワインディング	40	ブロッキング、セッティング、上巻き、下巻き
			センター巻き、右サイド、左サイド
			全頭巻き、実技試験
	シャンプー	60	スタンドシャンプー手順、フロントシャンプー
			スタンドシャンプー～フロンシャンプー
			サイドシャンプー手順
			サイドシャンプー練習
			相モデル 実技試験
	トータル実習	70	シャンプー フェイシャルケア 相モデル
			シャンプー ヘッドマッサージ フェイシャルケア
			シャンプー シェービング
			ヘッドスパ シェービング ネックリンバ
			総合 各種技術の組合せ
	カラーリング	40	使用用具について
			基本プロセス
			基礎テクニック 塗布練習
			リタッチテクニック
	創作ヘア	40	ステージ用ヘア創作
			フリースタイル
	実務実習	30	掃除 接客 用具の準備・片付け 仕事の流れ等を学ぶ
		30	掃除 接客 用具の準備・片付け 仕事の流れ等を学ぶ
	大会練習	30	大会種目の集中練習
評価方法と基準		出席率85%以上 授業の取り組み評価 試験60点以上 60点未満は追試	試

課目名	2026 サロン技術		必修/選択	必修
履修時間	30時間	1年次30時間	授業方法	
実施方針	サロンで行われる実践技術について知識と実践を行うことでサロンワークについての知見、経験を養う。また、プロとしての心構え、立ち居振る舞いについても修得する。			
授業内容と計画		時間	内容	
		3	仕事の基本とプロの心構え	
		3	第一印象と身だしなみ	
		3	受付業務～ご案内～カウンセリング	
		3	アシスタント業務の基本①	
		3	アシスタント業務の基本②	
		3	技術サポート①	
		3	技術サポート②	
		3	トラブル対応	
		2	総合ロールプレイング①	
		2	総合ロールプレイング②	
		2	総合ロールプレイング③	
		評価方法と基準	出席率85%以上 授業への取り組み評価	

課目名	2026年度 エステティック		必修/選択	選択
履修時間	30時間	2年次30時間	授業方法	講義・実習
到達目標	エステティックの定義・目的を学ぶ 美の提供者としての心構え、意識の確立			
授業内容と計画		時間	内容	
		3	概論理論	
		6	フェイシャルケア及びフェイシャル機器の理論・実習	
		6	ボディケアの理論・実習	
		6	リフレクソロジーまたはヘッドスパの理論・実習	
		6	デコルテマッサージ	
		3	フェイシャルパックとマスク	
評価方法と基準	出席率85%以上 授業への取り組み評価			

課目名	2026年度 カウンセリング		必修/選択	選択
履修時間	60時間	1年次30時間 2年次30時間	授業方法	講義・実習
実施方針		「相談の基礎知識」、「人間の心の動きや仕組みの基礎知識」、「カウンセリングの基礎技法」、「カウンセリングの練習」などしっかりと知識と技法を身に付け、現場で構えず自然体でカウンセリングやコンサルティングができるようになること。		
授業内容と計画		時間	内容	
		6	カウンセリング概論	
		6	カウンセリング概論とは	
		6	カウンセリングの手法	
		6	カウンセリングに必要な基礎知識	
		12	カウンセリングの訓練	
		3	職場の衛生管理	
		3	毛髪・皮膚コンサルティング	
		3	サロンでのコンサルティングの意義	
		3	毛髪診断	
		3	パーマ施術前のコンサルティング	
		3	ヘアカラー施術前のコンサルティング	
		3	その他施術前のコンサルティング	
		3	コンサルティングのその他の知識	
評価方法と基準		出席率85%以上 授業への取り組み		

課目名	2026 国家試験対策		必修/選択	選択
履修時間	30時間	1年次30時間 2年次30時間	授業方法	実習
実施方針	衛生審査項目の徹底により公衆衛生に深く関わりのある職業であることを認識させる。 また技術面においては一層の技術向上を図り国家試験合格を目指す。			
授業内容と計画		時間	内容	
		6	国家試験、実技手引き理解	
		8	衛生審査	
		10	国家試験一連の流れを確認	
		6	個人別反省点について指導、改善	
		6	準備物、机上配置について練習	
		6	消毒について技術練習	
		6	技術模擬試験	
		12	シミュレーション	
評価方法と基準	出席率85%以上。授業への取り組み評価。			

課目名	2026年度 メイクアップ		必修/選択	選択
履修時間	60時間	1年次30時間 2年次30時間	授業方法	講義・実習
到達目標	メイクの基礎的技術に応用を加え技術の幅を広げる			
授業内容と計画		時間	内容	
		3	教材配布、メイクアップ概論	
		3	顔の形態学的な観察	
		3	メイクアップと色彩	
		3	皮膚の生理と構造	
		3	メイクアップの道具	
		6	スキンケア	
		6	ベースメイクアップ	
		6	アイメイクアップ	
		6	アイブロウメイクアップ	
		6	リップメイクアップ	
		6	ブラッシュオンメイクアップ	
		9	まつ毛エクステンション	
評価方法と基準		出席率85%以上 授業への取り組み評価		

課目名	2026年度 ネイル				必修/選択	選択
履修時間	60時間	1年次30時間 2年次30時間	授業方法		講義・実習	
到達目標	ネイルの基礎的技術・知識の習得に加え応用技術の幅を広げる					
授業内容と計画		時間	内容			
		3	教材配布、ネイル技術概論			
		6	ネイル技術の種類			
		6	ネイル技術と公衆衛生			
		9	ネイルケア			
		15	アーティフィシャルネイル			
		15	ネイルアート			
		6	手と足のマッサージ			
評価方法と基準		出席率85%以上 授業への取り組み評価				

課目名	2026年度 総合技術		必修/選択	選択
単位(時間)	120時間		授業方法	実習
実施方針	基礎から応用。時間を意識し、施術する。カット技法、セット技法は、より実践に近い、仕上がりの完成度も高いものを目指す。			
授業内容と計画		時間	内容	
	サロンワーク	6	カルテ作成	
		6	ヘルプの仕事を理解する	
		6	総合技術とリンパマッサージを組み合わせメニューを実習する。①	
		6	総合技術とカラー・パーマを組み合わせメニューを実習する。②	
		6	総合技術とヘッドエステを組み合わせメニューを実習する。③	
		2	全体の振り返り	
	カット	7	概論(展開図の理解)	
		24	カット実習(レザーカット)	
		12	スタイルごとのセット	
		24	ミディアムカット	
	メンズセット	6	ドライヤーの扱いとブラシ操作	
		3	クラシカルバック用カット	
		3	クラシカルバック	
		3	整髪料の扱い	
		3	サイドバック	
		3	クラシカルバック・サイドバック完成度チェック	
評価方法と基準	出席率85%以上 授業への取り組み評価 60点以下の場合は再試験			